

平成 27 年度第 1 回津山市立図書館協議会会議録【概要】

日時：平成 27 年 8 月 25 日午後 1 時 30～3 時

会場：津山市立図書館 集会室

出席委員 竹内委員長 小林（け）委員 本郷委員 國米（ま）委員

國米（ひ）委員 長谷川委員 富澤委員 金崎委員

欠席委員 福田委員 内田委員 頭士委員 小椋委員 小林（ひ）委員

井上委員 柿本委員

事務局 松尾部長 谷口館長 武下 大河原

1. 開会
2. 挨拶（略）
3. 委嘱状交付
新委員（井上委員 柿本委員 富澤委員 金崎委員）のうちの出席委員
4. 委員自己紹介（略）

5. 委員長あいさつ

図書館の運営について忌憚のないご意見をお願いしたい。

7. 報告

- (1) 平成 26 年度津山市立図書館及び視聴覚ライブラリーの利用状況について

事務局 貸出、利用人数は前年度に比べてやや減少傾向にあり、平成 26 年度に初めて取り組んだ行事では「夜の図書館」がある。いつもと違う雰囲気
の閉館後に図書館でお話や落語を聞いて参加者に好評だった。連携事業や
ボランティアの協力を得て、本館、地区図書館ともに各種行事を行っている。

視聴覚ライブラリーは液晶プロジェクター、DVD の貸出しが中心になって
いる。

委員 長期的には図書館の利用傾向はどうなっているか。

事務局 平成 22 年をピークに利用は減少傾向にある。本館の減少が著しく、
地区館は増加または横ばい。

委員 平成 22 年度に利用が多かったのはなぜか。

事務局 資料費のピークの後で新刊が豊富だったこと、21 年度に IC タグの
導入や子育て支援コーナー新設などリニューアルを行った。

委員 来館者数と利用人数は？

事務局 本館の来館者数も減少傾向にある。来館者数は本館入口を通った人数、

利用人数は貸出時に貸出券を使った人数。来館されて長時間滞在される方やご家族で来館されても資料を借りる、借りないがある。

委員 大学ではどんな傾向ですか。

委員 大学図書館の傾向としてラーニングコモンズが各図書館に設置され来館者は増加しても、本の貸出は伸びない。

委員 人口減も影響があるか。

事務局 人口も減少しているので利用対象人口も減少している。

委員 利用者アンケートなどは最近とっていないか。

事務局 自由に記入のアンケート用紙は図書館内に用意しているが、最近では実施していない。アンケート実施については来年度検討する。

委員 久米図書館の利用は伸びている。児童クラブに配本してもらって高学年が低学年に読み聞かせをして読書活動の推進に成果がでている。図書館に行かない子もいるので図書館は本があるだけでなく楽しい場所ということを発信している。図書館近くの運動場やプールの待ち時間に利用してもらって上手に利用されている。地元の久米地区以外の利用者も多い。一人一人につなげていくことが大切だと思う。

委員 自動車文庫に積んでいる本の内容はどうか。学校でも利用する子としない子の差が大きい。

事務局 通常搭載している本以外にその地域にあわせて特集としてボックスに入れて持っていく。また個別の予約も自動車文庫で受け取ることができる。人気のある本は予約待ちになるため書架にない状態が見受けられる。

(2) 図書館ビジョンについて

事務局 昨年度の図書館協議会においてご意見をいただいた「図書館ビジョン」を作成した。図書館内部の資料として活用する。

8. 議事

(1) 平成27年度津山市立図書館主要事業について

事務局 27年度主要事業に(1)魅力的な図書館運営と情報発信の強化(2)地域課題解決支援サービスの強化(3)子どもの読書活動と学校図書館との連携の推進(4)住民やボランティアとの協働推進を挙げている。昨年度に続いて本館でも「夜の図書館」を実施し好評をいただいた。また今年の夏は「調べる学習コンクール」を実施し、調べ方やまとめ方の勉強会を開催、8月25日から作品の募集を行う。ビジネス支援や健康支援、終活セミナーなども予定している。

委員 「夜の図書館」は楽しい行事であり、続けていくのがいいと思う。乳幼児からの読書は非常に大切だと思う。

委員 私立の3幼稚園には自動車文庫が不定期行っていると聞いているが保

育園にも来ていただけるとありがたいと思う。

委員 平成22年度にはリニューアルして利用者が増えたというなら、そういう仕掛けをどんどんやらないといけない。

委員 指定管理者制度を導入した図書館などで遊びの部分には光が当たっているが正統派の図書館が評価されていないようにも思う。

(2) 視聴覚ライブラリー担当委員の選出について

事務局 視聴覚ライブラリーの購入資料をご検討いただく委員を選出していただきたい。例年小中学校校長会及び公民館長会、津山市保育協議会の代表委員の方をお願いをしているので、福田委員長、柿本委員、金崎委員の3名をお願いしたい。

全員 了承

委員 視聴覚ライブラリーの機器も変わってきているため、現状のままではうまくいかないだろう。運営について英断も必要な時期ではないかと思う。

(3) 津山市立図書館、視聴覚ライブラリーの運営について

事務局 年代別で利用者の割合をみると高齢の利用者が多い。従来の子ども読書や子育て支援等のサービスに加えて高齢者対象のサービスの構築も必要かと考えている。委員の皆様のご意見をいただければと思う。

委員 新聞を読んだり雑誌を読んだり図書館に滞在している方もいる。高校生の来館者はどうか。机だけ占有しているとなると気になるが。

事務局 今年の夏は例年より高校生の利用が少ないような印象。図書館としては来館者数も貸出冊数も増えて欲しい。

委員 趣味の分野などの本が少ないという声を聞いたことがある。アルネ内で開設されている山陽カルチャーなどの内容に合わせてコーナーを作って本を増やしてはどうか。

委員 プールに通う元気な高齢者も多い。

事務局 図書館に来ていただいて健康的に過ごしていただくのも必要と考えている。

委員 本を増やすとなると資料費が問題になるが、予算の獲得についてはどうか。

事務局 予算は一般経費として扱われているので図書館資料費を別枠にすることができない。なんとかしたいという気持ちは持っている。図書館独自に収入確保として企業広告の募集を始めた。

委員 企業広告について反響はあったか、

事務局 2件の応募があった。批判的なご意見はいただいていない。

委員 津山は歴史文化都市として恥じないようにしっかりとした図書館運営にあたっていただきたい。図書館のアイディア次第で工夫をすることも

きるのではないか。所蔵スペースにも限りがあると思うが個人で相当の蔵書を抱えている人が引き受け手を探して苦慮している例もある。図書館がアンテナを高くして情報収集にも努めていただきたい。

委員 以前、地区館で一人勤務の時に安全管理の問題があったと聞いているが、現在はどうか。

事務局 合併後は基本的に2人勤務体制をとっている。原則、職員が一人勤務をすることはしない。

委員 久米の図書館の職員が減らされるということはないか、

事務局 現時点ではそのようなことは考えていない。

委員 駐車サービス券について、行事や利用者が増えれば増えるほど駐車サービス券が増えて図書館の負担が増えて資料費を圧迫しているようだが、どうなっているのか。

事務局 市としてはアルネや駐車場を利用していただくことも必要だし、図書館費に負担をかけないことも大切だと考えている。関係部局と相談をしながら対応策を探っているところ。図書館が負担する駐車料金の削減に努めているが、利用者と窓口でのやりとりなるで、対応に苦慮することもある。

委員 平成27年度で新しい取り組みがあれば教えていただきたい。

事務局 平成27年3月から図書館の公式フェイスブックを立ち上げ、情報の発信につとめている。企業広告の募集、貸出レシートへの広告の募集を始めた。また各館ともボランティアや美作大学、高専など多くの方と連携させていただきながら様々な行事に取り組んでいる。

委員 予算が削減されるなかで久米図書館がなくなることはないか。

事務局 現時点で各図書館がなくなることはない。

委員 勝北地域では図書館に行きたくても遠くて行けない地域がある。底上げが大切だと思う。

委員 文化面での格差があるのは事実だと思う。

その他

事務局 9月末の蔵書点検の休館期間に図書館電算システムの入替えを行う。

9. 閉会挨拶

10. 閉会